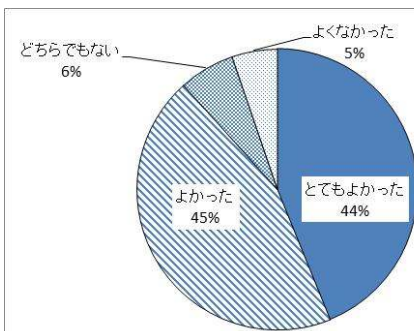


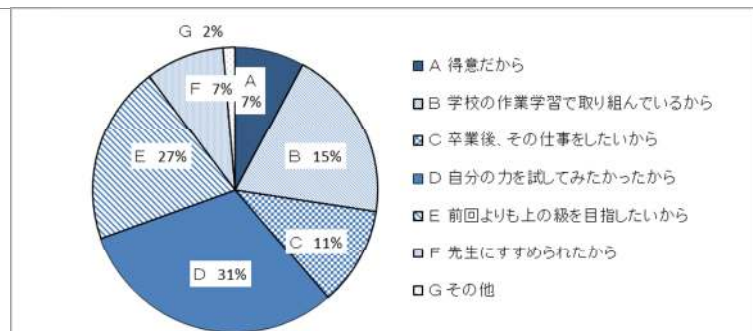
第8回愛顔のえひめ特別支援学校技能検定アンケート結果

(1) 受検者

①「受検してどうでしたか」



②「その種目を受検しようと思った理由」

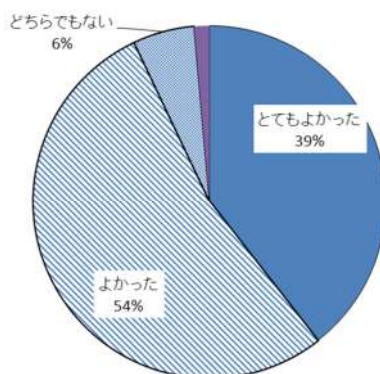


③ 感想（自由記述）

- ・今まで練習を頑張ってきてきたことを当日発揮できてよかった。
- ・毎日放課後練習した成果が発揮できたので良かった。
- ・就職してその仕事に就きたいと思った。
- ・多くの企業の方が見てくれた。
- ・今までしたことがない検定で、腕試しができた。
- ・もっと正確に作業したい。
- ・緊張感がある中最後までやり遂げる達成感を感じた。
- ・検定は緊張して焦ってしまうので、普段から本番を意識する必要があると思った。
- ・時間通りにできなくて悔しかった。
- ・1級を取りたい
- ・就職してもこの技能検定でやったことが自信につながると思う。

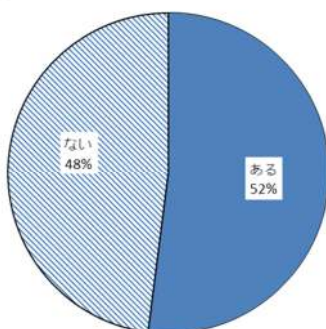
(2) 保護者

①「子どもさんを受検させてどうでしたか」（自由記述）



- ・目標を持てるようになり、積極的に活動できた。
- ・本人のスキルアップと共に自信が付いた。
- ・どのような状態が良しとされているのか、体験することで理解できる。人前でもしっかりと自信を持って行動する力が養える。
- ・検定に向けての練習を帰宅して話していたので、成長を感じられた。
- ・緊張感のある現場で真剣に作業する姿が見られて良かった。
- ・やればできるんだと思った。
- ・卒業後、「働く」気持ちが強くなったと思う。

②「子どもさんの様子で受検前と後とで変わったことがありますか。」（自由記述）



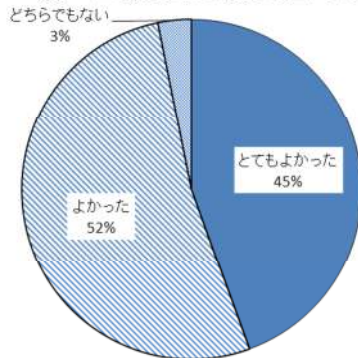
- ・「やりきった。練習どおり正しくできた。」という満足感を感じた。
- ・家でも掃除をするときに、検定内容を生かすことができた。
- ・自分で考えて行動することが多くなった。できないことに対しても頑張ることができるようにしようと努力する姿が見られるようになった。
- ・できないとすぐに諦めず、やればできると頑張るようになった。
- ・自分のことだけでなく、友だちとも互いに励まし合って頑張れた。
- ・身だしなみ、礼儀など、普段から気を付けるようになってきたかな。
- ・家事を手伝う回数が増えた。家族での会話が増えた。

③「今後、技能検定に期待することは、どんなことですか」（自由記述）

- ・検定という自分を試せる機会を貰って、頑張る過程がありがたい。
- ・これからも続けてほしいです。（子どもたちが自信と誇りをもって日々を送っていけるように）
- ・経験することの少ない子どもたちである。たくさん経験させてほしい。
- ・社会に出てから、通用する技能を身に付けられるものにしてほしい。
- ・自分自身の適性やできることを見つけて、就労の選択肢が広がると幸い。
- ・就労先に伝えていただいて、それが就労することに役立ってほしい。

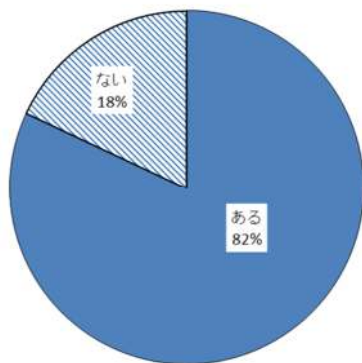
(3) 教員

①「生徒を受検させてどうでしたか」(自由記述)



- ・評価基準が明確なので、生徒たちが何に気を付ければよいのかが分かりやすかった。
- ・多くの人に見られているという中で考えながら、思い出しながら動くということは、必ず後で役に立つ。
- ・生徒の働くことへの興味・関心が深まった。生徒が自分自身を客観的に見ることができた。
- ・挨拶の大切さを知ることができた。
- ・目標を持つことで、生活にハリが出たような気がする。

②「生徒の様子で受検前と後とで変わったことがありますか。」(自由記述)



- ・検定で学んだことを日々の清掃に生かす様子が見られた。
- ・次に向けての具体的な目標を持ち、学校生活に取り組む生徒もいた。
- ・スキルや意欲の向上が見られた。
- ・他の生徒が受検したことで刺激を受け、次は自分も受検しようと考え始めた生徒が増えた。
- ・きちんとやっていこうという気持ちが見られた。
- ・言わなくても身だしなみに気を付けようとするようになった。
- ・次の目標や、自分の課題等に向けて、意識し始めている。

③「教員として、技能検定に取り組むことで変わったことはありますか。」(自由記述)

- ・卒業後に生徒に求められる身だしなみや態度など、注意して指導する必要がある点について理解を深めることができたと思う。
- ・普段の学校生活でより一層挨拶、姿勢、声の出し方などの指導を心掛けるようになった。
- ・本人の得意な分野を認め、伸ばすことの大切さを、身を持って体験できた。
- ・社会で通用する基本的な作業方法を知ることができた。
- ・生徒との関わり方や教え方などには、色々な形や方法があると再認識できたことで、接し方の幅が広がったように思う。
- ・生徒一人一人とより深く関わることができた。生徒指導に対してもモチベーションが上がった。
- ・頑張っている練習に取り組む生徒を見て、「私も頑張らなければ!」という意識が生まれ、テキストをよく読んで指導に当たった。
- ・将来、生徒たちが働く姿をイメージしやすくなったように感じる。

④「今後、技能検定に期待することはどんなことですか。」(自由記述)

- ・継続して安定的に実施すること。
- ・実際の場面により近い形で検定が行われること。
- ・アビリンピックとの連携や統一が図れるとよい。
- ・生徒の成長。就労を意識した態度。
- ・検定そのものではないが、学校生活の中で活かす力の指導。その場面だけでは残念すぎる。
- ・技能検定で一級を取ることは大事だが、それだけにとらわれず、「チャレンジ」という生徒が増えるといいと思う。そして、チャレンジ→級取得→自信につながっていくことを期待する。
- ・技能や態度が一般社会で通用するように、生徒や保護者に伝えていくにはどうすればよいのか、企業の方々から助言をもっといただきたい。
- ・ずいぶん学校内で技能検定が定着してきたように思う。新たな種目の追加も生徒の意欲を高めるが、まずは現在ある種目の更なる定着を目指したい。